

中区から 交通事故“0”を目指そう！

交通安全

「安全は 心と時間の ゆとりから」



交通事故発生状況(令和6年1月～令和6年12月)

	発生件数 (前年比)	死者数 (前年比)	負傷者数 (前年比)
県内	20,750件 (-1,120件)	109人 (-6人)	24,123人 (-1,521人)
市内	7,263件 (-440件)	40人 (0人)	8,321人 (-588人)
中区内	504件 (+29件)	8人 (+4人)	572人 (+4人)

※中区の高齢者(65歳以上)事故(カッコ内は前年比)

関係者事故：164件(-5件) ○死者数：3人(+2人) ○負傷者数：79人(-9人)

高齢者の交通事故を防ぎましょう！

- ・高齢者の関係する事故の多くは、自宅付近で発生しています。
- ・近所や通い慣れた道を歩く時でも、
「横断歩道を使用する」「信号を守る」「左右の安全を確認してから道を渡る」
など、基本的な交通ルール・マナーを守ることが自分の命を守ることにつながります。

高齢者が事故に遭わないために大切なこと！

- ・聴力や歩く速度など身体機能・認知機能の変化を知っておきましょう。
- ・夜間は反射材を身につけて、ドライバーに目立つようにしましょう。
- ・慣れた道だからといって注意を怠らないようにしましょう。

高齢ドライバーによる事故が発生しています！

- ・今の運転で大丈夫ですか？
- ・車の運転に不安を感じたら、運転免許自主返納をお考えください。

中区交通安全対策協議会・中区役所・中区連合町内会長連絡協議会